

## 2015 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	白川静記念東洋文字文化研究所
研究センター長名	杉橋 隆夫

### I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

#### 1) 学術研究事業

2015 年度は、各運営委員や研究員による個別の研究のほか、白川研として下記①～④の研究を推し進めた。

①2015 年度は、昨年度に引き続いて三菱財団人文科学研究研究助成(2014 年 10 月～2016 年 9 月、研究代表者：萩原正樹、研究費：200 万円)を得て、「白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果」という課題で研究を継続した。本研究は、昨年度の福井県教育委員会との共同研究をさらに強化して行うもので、「白川フォント」の作成も続けていった。情報理工学部の前田亮教授の協力を得て、既に常用漢字についてはほぼ網羅した数のフォントを作成し、現在字形について細かなチェック作業を進めている。福井県との共同研究も続けており、さらに後藤文夫研究員による教材の開発も進んでいる。

②2015 年度はまた、「国際シンポジウム「漢字文献の現在」の開催」というテーマで、「研究の国際化推進プログラム(後期募集分)」(研究代表者：萩原正樹、研究費：50 万円)に採択された。国際シンポジウムは、当研究所と文学部中国文学専攻との共催で開くこととし、2015 年 11 月 28 日(土)に本学衣笠キャンパス、創思館カンファレンスルームにおいて国際シンポジウムを開催した。発表者として首都師範大学専任講師の田天氏、東北大学秦皇島分校講師の張立克氏、また復旦大学古籍保護研究中心副研究館員の王亮氏を招き、それぞれ、「北大秦簡祠祝書初探—兼論周家臺“病方簡”的構成」、「經學視角下西漢劉向《詩》家法考」、「李斯臂蒼鷹考」というテーマで、大変意義深い研究発表をして頂いた。会場には内外から 80 名ほどが集まり、積極的な意見交換も行われた。今回発表して頂いた三名の方々とは、今後とも「白川静記念東洋文字文化研究所」「文学部中国文学専攻」との協力関係の継続を確認し、研究ネットワークを北京や上海に広げることができた。昨年度の「間文化現象学研究センター」と共同して開催したシンポジウムとともに、これらを契機としてさらに国際的な研究展開をはかっていきたい。

③高島敏夫研究員による初期漢字研究会を、2015 年度も継続して 7 回開催した。初期漢字研究会は、本学の学生・院生も積極的に参加する研究会であり、その概要については既に何度か「白川研究所便り」に紹介されている。白川先生の学問の根底をなすのはやはり漢字研究であり、今後とも継続して初期漢字研究会を開催し、本学の中でその根がたしかに育ち、成長していくようにしていきたい。

④2012 年 4 月より当研究所の研究部門となった漢字学研究会については、2015 年度は研究会例会を計 10 回開催し、新出金文の講読や研究発表に取り組み、その成果を機関誌『漢字学研究』第 3 号にまとめ、8 月に刊行した。また 12 月には中国出土文献研究会主催の特別講演会を共催した。

#### 2) 文化事業

全国で漢字講座やワークショップを計 29 回開催、のべ 2347 名の受講者があった。2006 年度から全国で開催している体験型漢字講座「漢字探険隊」は 2016 年 2 月 20 日、21 日に朱雀キャンパス・京都三条商店街での実施で通算 150 回を数えた。漢字教育士資格認定事業について、漢字教育士認定者数は 2016 年 1 月末で累計 390 名に上っている。産経新聞社との共催による「第 6 回創作漢字コンテスト」は、全国から 1.3 万通の応募があった。また、白川博士の業績を初等・中等教育現場に広く普及させるべく、当研究所客員研究員・後藤文男が中心となり、2014 年 4 月から立命館学園附属校教員による「白川式漢字学習法」開発ワーキングの活動を行い、2016 年 3 月に『成り立ちで学ぶ漢字ワークシート 35』が完成、2016 年度より附属校での使用が予定されている。また附属校・提携校各校での「白川静ミニ展示」の巡回展を開催、同時に各校での白川文字学や白川静先生の行きかたについての授業を行い、また漫画版「白川静—漢字の世界の新しい扉を開いたものがたり」の刊行もあいまって附属校の児童・生徒が理解を深める契機となった。

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2016年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位	
センター長	杉橋 隆夫	文学部	特任教授	
運営委員	加地 伸行	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー	
	芳村 弘道	文学部	教授	
	上野 隆三	文学部	教授	
	萩原 正樹	文学部	教授	
	松本 保宣	文学部	教授	
	石井 真美子	文学部	准教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	前田 亮	情報理工学部	教授	
学内の若手研究者	専門研究員・研究員	Batjargal Biligsaikhan	衣笠総合研究機構	研究員
		木村 文則	衣笠総合研究機構	研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上在籍院生				
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	吉田 甫	文学部	非常勤講師	
	山田崇仁	立命館大学	非常勤講師	
	高島 敏夫	立命館大学文学部	非常勤講師 客員研究員	
	増井 寛也	文学部	非常勤講師 客員研究員	
	落合淳思	文学部	非常勤講師	
	後藤 文男	立命館大学社会連携課	専門契約職員 客員研究員	
	久保裕之	立命館大学社会連携課	専任職員	
客員協力研究員	笠川 直樹	京都精華女子中学高等学校	教諭	
	小寺 誠			
	津崎 幸博	漢字教育工学学会	理事	
	馬越 靖史	京都外大西高等学校	非常勤講師	
	佐藤 信弥	兵庫県立芦屋国際中等教育学校/ 尼崎市立尼崎工業高等学校	非常勤講師	
	阪谷 昭弘	私立花園高等学校国語科	教諭	

その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	大形徹	大阪府立大学大学院人間社会学研究科	教授
	横大路綾子	京都西山高校	非常勤講師
	三輪健介	岡山大学	客員研究員
	丸山啓樹		
	齋藤加奈		
	末次信行	千里金蘭大学	教授
	村上幸造	大阪工業大学知的財産学部	教授
	武田秀夫	追手門学院大学	元教授
	張莉	京都大学国際高等教育院	非常勤講師
	前原あやの	関西大学	非常勤講師
	辻尾榮市	大阪府立大学	客員研究員
	湯浅邦弘	大阪大学大学院文学研究科	教授
	草野友子	京都産業大学文化学部	特約講師
	中村未来	大阪大学大学院文学研究科	助教
	福田哲之	島根大学教育学部	教授
福田一也	大阪大学大学院文学研究科懐徳堂研究センター	教務補佐員	
曹方向	大阪大学大学院文学研究科	外国人招聘研究員	
研究所・センター構成員 計 40 名 (うち学内の若手研究者 計 2 名)			

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2016年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	萩原 正樹	森川竹磔『詞律大成』本文と解題(立命館大学文学部人文学研究叢書7)	単著	2016年3月	風間書房		全頁
2	杉橋 隆夫	真名本曾我物語 1(電子書籍版)	共著	2015年9月	平凡社	青木晃・池田敬子・北川忠彦	pp.1-314
3	杉橋 隆夫	真名本曾我物語 2(電子書籍版)	共著	2015年9月	平凡社	笹川祥生・信太周・高橋喜一・福田晃	pp.1-355
4	加地 伸行	日本思想史研究: 中国思想展開の考究	単著	2015年10月	研文出版	加地伸行	全頁
5	高島 敏夫	甲骨文の誕生 原論	単著	2015年4月	人文書院		全頁
6	吉田 甫	批判的思考	共著	2015年、7月	新曜社	楠見・道田編	Pp. 128-133
7	大形 徹	土屋昌明・ゴースール編『道教の山岳信仰と地方神』東方書店、大形徹・仇詩琪訳「南岳衡山与洞天福地—既是五岳又是洞天」	共著	2016年2月	東方書店		PP. 191-209
8	大形 徹	『隋書』音楽志訳注	共著	2016年2月	和泉書院	音楽研究会編(佐藤大志、釜谷武志、大形徹、山寺三知・林香奈・狩野雄・柳川順子・佐竹保子・川合	PP. 181-198 PP. 382-398

						安・長谷部剛)	
9	落合淳思	甲骨文字辞典	単著	2016年3月	朋友書店		全758ページ
10	草野友子	テーマで読み解く 中国の文化	共著	2016年3月	ミネルヴァ書房	湯浅邦弘、宮本一夫、横田恭三、中村未来、佐藤一好、宇田川幸則、古田茂美、浅見洋二、谷口高志、福田一也、鶴成久章、梶島雅弘、川野明正、近藤浩之、渡邊英幸、町泉寿郎、合山林太郎、陶徳民、柿沼陽平	PP. 191~214、272~278
11	中村未来	戦国秦漢簡牘の思想史的研究	単著	2015年11月	大阪大学出版会		
12	中村未来	テーマで読み解く 中国の文化	共著	2016年3月	ミネルヴァ書房	湯浅邦弘、宮本一夫、横田恭三、佐藤一好、宇田川幸則、古田茂美、浅見洋二、谷口高志、草野友子、福田一也、鶴成久章、梶島雅弘、川野明正、近藤浩之、渡邊英幸、町泉寿郎、合山林太郎、陶徳民、柿沼陽平	PP. 63~83、186~190
13	福田一也	テーマで読み解く 中国の文化	共著	2016年3月	ミネルヴァ書房	湯浅邦弘、宮本一夫、横田恭三、中村未来、佐藤一好、宇田川幸則、古田茂美、浅見洋二、谷口高志、草野友子、鶴成久章、梶島雅弘、川野明正、近藤浩之、渡邊英幸、町泉寿郎、合山林太郎、陶徳民、柿沼陽平	PP. 215~220

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	萩原 正樹	『増統陸放翁詩選』所収「詞十九首」と村瀬栲亭	単著	2015年5月	日本宋代文学学会報第1集		PP. 137~165	有
2	萩原 正樹	【資料紹介】詞の沿革及び作法の概説	単著	2015年12月	風絮第12号	森川竹磯原著	PP. 135~160	有
3	萩原 正樹	詞籍「提要」訳注稿(五)	共著	2015年12月	風絮第12号	日本詞曲学会	PP. 253~260	有
4	萩原 正樹	龍榆生編選『唐宋名家詞選』訳注稿(十二)	共著	2015年12月	風絮第12号	日本詞曲学会	PP. 297~309	有
5	萩原 正樹	龍榆生編選『唐宋名家詞選』唐五代編	共著	2016年3月	風絮別冊	日本詞曲学会	PP. 422~434	有
6	松本 保宣	「五代中原王朝の朝儀における謝恩儀礼について—正衙謝と中謝—」	単著	2016年3月	『東洋史研究』74巻4号	なし	pp.70~108	有
7	石井真美子	『銀雀山漢墓竹簡(貳)』訳注(二)	共著	2015年11月	中国芸文研究会, 学林, 61号	村田進, 山内貴	PP. 101~118	無
8	高島 敏夫	西周時代における天の思想と天子概念——殷周革命論ノート(三)上	単著	2016年1月	立命館白川静記念東洋文字文化研究所, 同紀要, 第9号		PP. 25~40	無
9	吉田 甫	高齢者に対する認知訓練の効果性: 立命館大学での10年間の試み	共著	2014年9月	高齢者のケアと行動科学, 19巻、	孫琴・古橋啓介・土田宣明・高橋伸子・石川真理子・坂口佳江・小田博子・吉村昌子・大川一郎	PP. 2-16	有
10	秋山陽一郎	劉向・劉歆校書事業における重修の痕跡(上) —	単著	2015年7月	中国古代史論叢編集委員会、中国古代史		PP.24~64	有

		『山海経』と「山海経序録」の事例から一			論叢、8集			
11	大形 徹	中国伝統医学における灸火の文献的検討	共著	2015年5月	全日本鍼灸学会、ふくしま大会 抄録集	家本旬二	P.159	有
12	大形 徹	《胎産書》之“始”	単著	2015年6月	8《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂國際研討會會議手冊、湖南省博物館、復旦大學出土文獻與古文字研究中心及中華書局聯合主辦、	なし	PP. 46~53	無
13	大形 徹	『論語』にみる政治理念とその実現の方法—有若の語を中心として	単著	2015年6月	大阪大学中国学会、中国研究集刊、60号		PP.1~19	有
14	大形 徹	『胎産書』の「始」	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.105~124	有
15	大形 徹	徐福が結ぶ日本と中国—連雲港そして新宮—	共著	2015年9月	張麟声・大形徹編『一衣帯水』地号	樊士進・泉侑里	PP. 1~19	無
16	大形 徹	研究会通信 「東アジア伝統医療文化の多角的考察」研究会	単著	2015年12月	大阪大学中国学会、中国研究集刊、61号		PP.29~33	有
17	大形 徹	龍角考—その二、鹿の角	単著	2016年3月	大阪府立大学人文学会、人文学論集、第34集	なし	PP. 75~92	無
18	大形 徹	中国按摩推拿医学の歴史—その一—	共著	2016年3月	大阪府立大学人文学会、人文学論集、第34集	李強	PP. 93~133	無
19	大形 徹	中国の風水思想と洞天福地	単著	2016年3月	東洋大学『エコ・フィロソフィ』学際研究イニシアティブ (TIEPh) 大地の思想—聖地・風水・里山	なし	PP. 27~39	招待
20	落合 淳思	甲骨文字の部首とその字源—甲骨文字札記(一)—	単著	2015年7月	中国古代史論叢編集委員会、中国古代史論叢、8集		PP.65~105	有
21	草野 友子	上博楚簡《成王為城濮之行》的内容與結構	単著	2015年4月	復旦大学歴史学系・復旦大学出土文獻与古文字研究中心編、簡帛文獻與古代史—第二屆出土文獻青年學者國際論壇論文集一、中西書局		PP. 24~32	有
22	草野 友子	上博楚簡『陳公冶兵』の基礎的検討	単著	2015年6月	大阪大学中国学会、中国研究集刊、60号		PP.35~52	有
23	草野 友子	上博楚簡『邦人不称』の全体構成—「不称」を手がかりとして—	単著	2015年11月	日本秦漢史学会、日本秦漢史研究、16号		PP.90~113	有
24	草野 友子	清華簡(五)所収文獻解題	共著	2015年12月	大阪大学中国学会、『中国研究集刊』、61号	湯浅邦弘、竹田健二、福田一也、福田哲之、清水洋子、中村未来	PP. 66~70	有
25	草野 友子	秦簡牘の全容に迫る—陳偉主編『秦簡牘合集』	共著	2015年12月	大阪大学中国学会、中国研究集刊、61号	湯浅邦弘	PP.100~108	有
26	崎川 隆	先族銅器群初探	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.13~34	有
27	崎川 隆	泉屋博古館所蔵“鳥形蓋盃”銘文初読	単著	2015年12月	泉屋博古館、泉屋博古館紀要、31号		PP.37~45	有
28	斎藤 加奈	提要 陳劍著「甲骨金文旧釈」尤、之字及相關諸字新釈	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.152~154	有

29	佐藤 信弥	清華簡『耆夜』の引詩とその背景	単著	2015年7月	中国古代史論叢編集委員会、中国古代史論叢、8集		PP.106~131	有
30	佐藤 信弥	金文通解 虎簋蓋	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.35~52	有
31	佐藤 信弥	金文学のツール—裘錫圭「西周銅器銘文中的“履”」を例として—	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.125~134	有
32	佐藤 信弥	提要 劉釗著「利用郭店楚簡字形考釋金文一例」・林澐著「究竟是“斲伐”還是“撲伐”」	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.154~156	有
33	佐藤 信弥	2013年古文字学論著目	共著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号	三輪健介	PP.161~194	有
34	佐藤 信弥	書評 陳捷著『甲骨文字と商代の信仰—神権・王権と文化—』	単著	2015年11月	日本秦漢史学会、日本秦漢史研究、16号		PP.114~127	有
35	佐藤 信弥	研究会通信 漢字学研究会	単著	2015年12月	大阪大学中国学会、中国研究集刊、61号		PP.13~14	有
36	張莉	2014年「漢字与東亞文化」国際學術研討会暨大韓中国学会年會報告	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.145~148	有
37	中村 未来	清華簡《說命》的文獻特質——以天的思想為中心	単著	2015年4月	復旦大学歴史学系・復旦大学出土文献与古文字研究中心編、簡帛文献與古代史—第二届出土文献青年學者國際論壇論文集一、中西書局		PP. 44~51	有
38	中村 未来	清華簡(五)所収文献解題	共著	2015年12月	大阪大学中国学会、中国研究集刊、61号	湯浅邦弘、竹田健二、福田一也、福田哲之、清水洋子、草野友子	PP. 70~76	有
39	中村 未来	清華簡『周公之琴舞』考	単著	2016年3月	中国出土資料学会、中国出土資料研究、19号		PP.109~130	有
40	福田 一也	清華簡(五)所収文献解題	共著	2015年12月	大阪大学中国学会、『中国研究集刊』、61号	湯浅邦弘、竹田健二、福田哲之、清水洋子、草野友子、中村未来	PP. 76~80	有
41	福田 一也	懷徳堂印の整理と保存について	単著	2016年2月	『懷徳堂研究』第7号		PP. 95~110	有
42	福田 哲之	簡帛『老子』諸本の系譜学的考察	単著	2015年6月	大阪大学中国学会、中国研究集刊、60号		PP.53~72	有
43	福田 哲之	清華簡〈厚父〉的時代暨其性質	単著	2015年10月	国立台湾大学文学院、第二届先秦兩漢出土文献与學術新視野國際研討会 會議論文集		pp.173~187	無
44	福田 哲之	清華簡(五)所収文献解題	共著	2015年12月	大阪大学中国学会、中国研究集刊、61号	湯浅邦弘、竹田健二、福田一也、清水洋子、草野友子、中村未来	PP. 61~66	有
45	前原あやの	張衡「思文賦」の世界観	単著	2016年3月	関西大学中国文学会、関西大学中国文学会紀要、37号		PP. 59~79	有
46	馬越 靖史	金文通解 四十二年=鼎	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.77~104	有
47	馬越 靖史	金文の「易」字	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号		PP.135~144	有

48	馬越 靖史	提要 李小燕・井中偉著「玉柄形器名『瓚』、説一輔証内史亳同与《尚書・顧命》『同瓚、問題』」	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号	PP.156~160	有
49	松井 嘉徳	顧命の臣 - 西周、成康の際	単著	2016年1月	京都大学大学院人間・環境学研究科松浦茂研究室、『アジア史学論集』、10号	PP. 1~21	無
50	水野 卓	春秋時代の周王 —その統治権と諸侯との関係に注目して—	単著	2016年7月	三田史学会、85巻1~3号第2分冊	PP.27~50	有
51	三輪 健介	金文通解 文璽	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号	PP.65~76	有
52	三輪 健介	提要 李家浩著「先秦文字中的『縣』」	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号	PP.151~152	有
53	山田 崇仁	金文通解 楚季鐘	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号	PP.53~64	有
54	山田 崇仁	『電腦中国学入門』活用事例：中国古典学向け情報科目の教科書として	単著	2015年10月	好文出版、漢字文献情報処理研究、16号	PP.126~136	有
55	山田 崇仁	『中国古今地名大辞典』のデジタルテキスト作成とWordPressを利用したWebデータベースの構築について	単著	2016年3月	好文出版、論集：中国学と情報化	PP.39~54	有
56	横大路綾子	提要 裘錫圭著「西周銅器銘文中の『履』」	単著	2015年8月	立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所、漢字学研究、3号	PP.149~151	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	高島 敏夫	滝村隆一の歴史的國家論について	2015年7月	初期漢字研究会、衣笠キャンパス	
2	高島 敏夫	殷周期の洛陽・偃師・北京琉璃河の遺跡探訪の報告	2015年10月	初期漢字研究会、衣笠キャンパス	
3	佐藤 信弥	晋侯蘇鐘	2015年4月	第32回漢字学研究会	
4	前原あやの	内史亳同	2015年5月	第33回漢字学研究会	
5	落合 淳思	寝孳方鼎	2015年6月	第34回漢字学研究会	
6	佐藤 信弥	2014年 學術誌等で報告された新出先秦文字資料	2015年6月	第34回漢字学研究会	
7	村上幸造	鉄簋・五祀鉄鐘	2015年7月	第35回漢字学研究会	
8	村上幸造	鉄簋・五祀鉄鐘(続)	2015年9月	第36回漢字学研究会	
9	村上 幸造	鉄簋・五祀鉄鐘(続)	2015年10月	第37回漢字学研究会	
10	馬越 靖史	四十三年=鼎	2015年10月	第37回漢字学研究会	
11	岩崎 未生	殷代田獵の意義についての一考察	2015年11月	第38回漢字学研究会	
12	野本祐里子	西周冊命儀礼における賜与物	2015年11月	第38回漢字学研究会	
13	山田 崇仁	蒼頡造字伝説の形成過程について	2015年12月	第39回漢字学研究会	
14	馬越 靖史	四十三年=鼎(続)	2015年12月	第39回漢字学研究会	
15	馬越 靖史	四十三年=鼎(続)	2016年1月	第40回漢字学研究会	
16	三輪 健介	聞尊	2016年1月	第40回漢字学研究会	

17	三輪 健介	聞尊(続)	2016年2月	第41回漢字学研究会	
18	大形 徹	道教の過去と現在	2015年5月	歴史懇談会・歴史教室・弁天町	
19	大形 徹	タイの呪術的植物	2015年5月	照葉樹林文化研究会・I-site なんば	大野朋子
20	大形 徹	『胎産書』『十問』の翻訳を通して見えてきたもの	2015年6月	伝統医療文化研究会・京都大学人文科学研究所本館	
21	大形 徹	『胎産書』的「始」	2015年6月	《長沙馬王堆漢墓簡帛集成》修訂国際研討会・復旦大学白玉蘭賓館	
22	大形 徹	文学とジェンダー『列仙伝』の女仙	2015年10月	文学とジェンダー・大阪府立大学中百舌鳥キャンパス A-15棟	
23	大形 徹	龍の角について—キリン・レイヨウ・シカ	2016年3月	説話文学美術研究会・大阪府立大学A15棟301	
24	草野 友子	上博楚簡『陳公冶兵』の文献的性格	2015年5月	東アジア文化交渉学会第7回国際学術大会、開成町福祉会館(神奈川県足柄上郡開成町)	
25	草野 友子	清華簡『封許之命』釈読	2015年7月	中国出土文献研究会第57回研究会、大阪大学文学部中国哲学資料室	
26	草野 友子	清華簡『封許之命』解題	2015年9月	中国出土文献研究会第59回研究会、大阪大学文学部中国哲学資料室	
27	崎川 隆	關於自名為“鬻”的青銅器	2016年1月	第2届古文字学青年論壇	
28	末次 信行	殷王朝の集権機能	2016年3月	中国古代史研究会創立七十周年記念論文集報告会 於流通経済大学新松戸キャンパス	
29	曹 方向	戦国文字と伝世文献に見える「文字異形」について	2015年12月	中国出土文献研究会主催特別講演会	
30	中村 未来	清華簡『芮良夫嗾』の基礎的考察	2015年5月	東アジア文化交渉学会・第7回年次大会	
31	中村 未来	清華簡『命訓』について	2015年7月	中国出土文献研究会(第57回)	
32	中村 未来	中井竹山・履軒の『尚書』注釈—今古文解釈を中心に—	2015年8月	懷徳堂研究会	
33	中村 未来	清華簡『命訓』解題	2015年9月	中国出土文献研究会(第59回)	
34	福田 哲之	清華簡(厚父)的時代暨其性質	2015年10月	第二屆先秦兩漢出土文獻与學術新視野国際研討会、国立台湾大学文学院、	
35	前原あやの	中国天文学における五星、五帝と五行思想	2015年4月	東アジア恠異学会第98回定例研究会	
36	前原あやの	『観象玩占』の東アジア的展開	2016年1月	平成27年度関西大学東西学術研究所第9回研究例会	
37	水野 卓	清華簡『繫年』より見た春秋時代の諸侯即位	2016年3月	中国出土資料学会平成27年度大会(第3回例会)	
38	山田 崇仁	『電腦中国学入門』活用事例:中国古典学向け情報科目の教科書として	2015年8月	漢字文献情報処理研究会2015年夏期公開シンポジウム 情報化時代における中国学次世代研究・教育基盤を考える～漢情研出版書籍の活用実践と評価～	

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	国際シンポジウム「漢字文献の現在」	衣笠キャンパス	2015年12月	80名	白川静記念東洋文字文化研究所
2	第21回初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2015年4月	7名	なし
3	第22回初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2015年5月	6名	なし
4	第23回初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2015年6月	3名	なし
5	第24回初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2015年7月	4名	なし

6	第25回初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2015年8月	3名	なし
7	第26回初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2015年10月	5名	なし
8	第27回初期漢字研究会	衣笠キャンパス	2014年11月	2名	なし
9	『説文解字』を読む会(計22回)(笠川直樹主催)	藤本彩雲堂宅(毎月2回)	2015年4月～ 2016年2月	毎回7名	
10	第32回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2015年4月	9名	
11	第33回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2015年5月	10名	
12	第34回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2015年6月	10名	
13	第35回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2015年7月	11名	
14	第36回漢字学研究会	立命館大学大阪いばらきキャンパス	2015年9月	17名	
15	第37回漢字学研究会	立命館大学大阪いばらきキャンパス	2015年10月	10名	
16	第38回漢字学研究会	立命館大学大阪いばらきキャンパス	2015年11月	10名	
17	第39回漢字学研究会	立命館大学大阪いばらきキャンパス	2015年12月	11名	
18	第40回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2016年1月	17名	
19	第41回漢字学研究会	キャンパスプラザ京都	2016年2月	16名	
20	東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班 班長 大形徹) ・『胎産書』『十問』などの訳注を通して見えてきたもの 発表者 大形徹 大阪府立大学・教授 ・『医心方』に魅せられて 発表者 槇佐知子 作家	京都大学人文科学研究所	2015年6月	60名	
21	東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班 班長 大形徹) ・臨床医に生きた曲直瀬玄朔とその周辺 発表者 葉山美知子 鎌倉早見美 容芸術専門学校・非常勤 ・漢方薬の症例呈示、および雲海土流について 発表者 松岡尚則 医師 ・舌診の歴史について 発表者 梁嶸 北京中医薬大学・教授	京都大学人文科学研究所	2015年7月	60名	
22	東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班 班長 大形徹) ・『医心方』訓読作成プロジェクトに向けて(1) 発表者 伊藤裕水 京都 大学文学研究科 D2・発表者 島山奈緒子 明治国際医療大学・O.D. ・知徳から行徳へ 発表者 遠藤次郎 東京理科大学薬学部・名誉教授	京都大学人文科学研究所	2015年10月	60名	
23	東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究班 班長 大形徹) 『医心方』訓読作成プロジェクトに向けて(2) 発表者 伊藤裕水 京都 大学文学研究科・D2 ・発表者 島山奈緒子 明治国際医療大学 O.D. ・『諸病源候論』の風病に関する『医心方』への影響を巡って 発表者 越智 秀一 順天堂大学医史学研究室・研究生 ・出土医学文献整理研究の回顧、現状と展望 発表者 張如青 上海中医薬大学	京都大学人文科学研究所	2015年11月	60名	
24	伝統医療文化国際ワークショップ 2016-1「鍼灸道 未来への軌跡」	北里大学東洋医学総合研究所	2016年1月	60名	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『医心方』 卷六選読 発表者 島山奈緒子 明治国際医療大学・O.D.</li> <li>・ 古訓で読む『医心方』 発表者 伊藤裕水 京都大学文学研究科・D2</li> <li>・ 司会 大形徹 大阪府立大学・教授 開会挨拶</li> <li>発表者 新家莊平 学校法人兵庫医科大学・理事長</li> <li>・ 漢方研究 60 年 発表者 小曾戸洋 北里大学東洋医学総合研究所医史学研 究部・部長</li> <li>・ 古典針灸学の世界—求真と求解 発表者 黄龍祥 中国中医科学院針灸研 究所・研究員</li> <li>・ コメンテーター 猪飼祥夫</li> <li>・ 学術史研究における日本漢学と医学史 発表者 町泉寿郎 二松學舎大学・教授</li> <li>・ 伝統医療の未来を拓く 発表者 真柳誠 茨城大学・教授</li> </ul>				
25	<p>東アジア伝統医療文化の多角的考察(研究 班 班長 大形徹)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四川成都老官山の医学書概観 発表者 猪飼祥夫 猪飼鍼灸</li> <li>・ 和漢診療学・あたらしい知の創造 発表 者 寺澤捷年 千葉中央メディカル センター和漢診療科・部長</li> </ul>	京都大学人文科学 研究所本館	2016年2月	60名	共催：日本道教学会、大阪府立大学人文学会 2014 学術研究会
26	<p>東アジア伝統医療文化ワークショップ 2016-3 (1 日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士川文庫のデータベース化 発表者 赤澤久弥 京都大学附属図書館情 報サー ビス課・課長補佐</li> <li>・ 京大富士川文庫探訪記 発表者 長野仁 森ノ宮医療大学大学院・教授</li> <li>・ 古医書データベース化構想の諸問題 発表者 武田時昌 京都大学人文科 学研究 所・教授</li> <li>・ 司会 陳 捷 国文学研究資料館・教授</li> </ul>	京都大学附属図書 館	2016年3月	60名	
27	<p>「東アジアの技術的伝統への再照射」国際 ワークショップ 2 日目 東 アジア科学 技術史国際シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ &lt;第 1 セッション：伝統医療&gt; 発表 者 ・ 「古訓で読む『医心方』(3) 卷 8 脚 気形状第 2 発表者 伊藤裕水 京都 大学 文学研究科・D2 ・ コメンテーター 石井 行雄 北海道教育大学釧路校・准教授</li> <li>・ 中国按摩推拿医学の遡及的考察 発表 者 李強 大阪物療大学・准教授／大形徹 大阪府立大学・教 授／</li> <li>&lt;第 2 セッション：天文暦学&gt; 発表 者 ・ 文本的射影： 文抄と西方暦算学的 伝播 発表者 祝平一 台湾中央研究院 歴史 語言研究所・研究員 ・ コメンテーター 宮島一彦 同志社大学嘱託・講師、中之島 科学研究所・ 嘱託研究員</li> <li>・ &lt;第 3 セッション：朝鮮医学&gt; 発 表者 ・ 東アジアにおける許浚『東医宝鑑』 の流布について 発表者 朴現圭 韓国 順 天郷大学・教授 ・ コメンテーター 吉田 和裕 順天堂大学医学部医史学研究室・研 究員 ・ 朝鮮医学史研究の概観と近年の動 向 発表者 任正嬭 朝鮮大学校・教授 ・ コ メンテーター 安相佑 韓国韓医学研究院・ 責任研究員 ・ 総合討論「伝統科技典籍の 近世的伝播」 司会 武田時昌 京都大学人 文科学研究所教授</li> </ul>	京都大学人文科学 研究所本館	2016年3月	60名	

28	日本道教学会第 67 回大会(会長 大形徹) 『東医宝鑑』医学体系における養生と修養 発表者 金兌根 東京大学大学院 博山炉の象徴するもの 発表者 木崎香織 大阪府立大学大学院 ほか5名 特別講演 洞天福地と環境 専修大学 土屋昌明	東洋大学白山キャンパス	2015年11月	100名	
29	照葉樹林文化研究会(代表 大形徹) 2015 in 大阪 講演発表会 タイの呪術的植物 大阪府立大学 大形徹・神戸大学 大野朋子 ほか	I-site なんば	2015年5月	40名	

5. その他研究活動(報道発表や講演会等)

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	松本 保宣	コラム「雑感:三田村泰助教授著『宦官一側近政治の構造』」	『白川研究所便り』10号	2016年3月
2	高島 敏夫	土曜講座《白川静再読》『漢字 生い立ちとその背景』を読む	立命館大学末川記念会館	2015年4月
3	高島 敏夫	白川文字学について——字形の原義について	東京・京橋プラザ区民館	2015年6月
4	高島 敏夫	白川静とその文字学	福井県立図書館	2015年12月
5	大形 徹	漢字の成立 全7齣	放送大学 大阪学習センター	2015年4月
6	大形 徹	漢字の文化 全4齣	放送大学 大阪学習センター	2015年4月
7	大形 徹	漢字文化	教員研修 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B-3棟	2015年8月
8	大形 徹	羽ばたく女『列仙伝』の女仙	I-site なんば	2016年2月
9	大形 徹	白川文字学(The Shirakawa Letters Studies) 集中講義	福井大学 工学部1号館 121M	2016年2月、3月
10	笠川 直樹	漢字教育士講座	放送大学	2015年10月、11月 計16講座
11	草野 友子	平成27年度懐徳堂古典講座『老子』—「道」と「無為自然」に学ぶ—	大阪市立総合生涯学習センター (大阪駅前第2ビル5階第1研修室)	2015年9月
12	草野 友子	平成27年度懐徳堂古典講座『莊子』—「胡蝶の夢」を見た荘周の哲学—	大阪市立総合生涯学習センター (大阪駅前第2ビル5階第1研修室)	2015年10月
13	草野 友子	京都産業大学生涯学習むすびわざ講座「未来を開く出土資料—中国古典再発見—」	京都産業大学むすびわざ館	2016年1月
14	中村 未来	孔子、孟子の思想	阪神シニアカレッジ国際理解学科	2015年5月
15	中村 未来	老荘思想	阪神シニアカレッジ国際理解学科	2015年5月
16	中村 未来	『荀子』——性悪説と礼と学の思想	平成27年度 懐徳堂古典講座「中国古典の名言を読む」(第7回)	2015年11月
17	中村 未来	『韓非子』——始皇帝を感激させた法家思想	平成27年度 懐徳堂古典講座「中国古典の名言を読む」(第8回)	2015年12月

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	大形 徹	関西医史学会	医譚賞	『『胎産書・雑禁方・天下至道談・合陰陽方・十問』』	2015年11月

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	萩原 正樹	宋人文集の編纂と伝承に関する総合的研究	基盤研究(B)	2014年4月	2017年3月	分担
2	松本 保宣	古代中世東アジアの関所と交通政策	基盤研究(A)	2012年4月	2016年3月	分担
3	大形 徹	中国古代における龍と舟と扶桑にみる復活再生観念の研究	基盤研究 (C)	2013年4月	2016年3月	代表
4	落合 淳思	甲骨文字に基づく漢字の字形・字義・字音の起原研究	若手研究 (B)	2013年4月	2016年3月	代表
5	草野 友子	新出土文献による中国古代思想史の再構築—楚国故事を中心に—	研究活動スタート支援	2014年9月	2016年3月	代表
6	曹 方向	楚国故事類文献の総合的研究—上博楚簡を中心に—	特別研究員奨励費	2014年4月	2017年3月	代表
7	中村 未来	中国出土文献による聖賢故事と経書の研究	若手研究 (B)	2015年4月	2019年3月	代表
8	中村 未来	中国新出土文献の思想的—戦国簡・秦簡・漢簡—	基盤研究 (B)	2014年4月	2019年3月	分担
9	福田 哲之	戦国秦漢簡牘文字の多様性と変遷に関する実証的研究	基盤研究 (C)	2012年4月	2016年3月	代表
10	前原あやの	中国天文類書の継承と発展に関する基礎的研究	研究活動スタート支援	2014年4月	2016年3月	代表
11	山田 崇仁	情報化時代における中国学次世代研究基盤の確立	基盤研究 (B)	2011年4月	2016年3月	分担

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	萩原 正樹	「海鶴堂日記」の基礎的研究	第10回(平成27年度)福武財団・瀬戸内海文化研究・活動支援助成	2015年5月	2016年3月	研究代表者
2	萩原 正樹	白川文字学による漢字教育が小学校児童の漢字や他の領域の理解におよぼす効果	三菱財団法人人文科学研究研究助成	2014年10月	2016年9月	研究代表者
3	石井真美子	漢字文献研究の深化と展望—「漢字文献の現在」国際シンポジウムの開催—	一般財団法人橋本循記念会 平成27年度 中国伝統文化に関する研究活動助成	2015年10月	2016年3月	研究代表者

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
該当無し								